



No.57



甲賀ポン艦
©2008甲賀市工業会

このコーナーでは、甲賀市工業会に加盟されている、ものづくり企業を紹介していきます。

甲賀市工業会
〒528-0006 甲賀市水口町水口6053番地
TEL 0748-63-4087

高品質なベアリング部品を製造し豊かな社会づくりに貢献

株式会社ミヤケ 滋賀工場

http://www.miyake-net.co.jp

DATA

設立/平成9年
従業員数/127名
所在地/水口町新城525番地 ☎62-0841 ☎62-9600



お話を伺った森井工場長

当社は、自動車をはじめ多彩な精密機械の内部で働くベアリング部品の開発、生産を行っています。

製品は、約550品種、月に3千5百万個を出荷し、ベアリングの素材加工の生産量は、業界ナンバーワンを誇ります。また、ステアリングなどの自動車部品も製造しており、国内のほとんどの車に使用されているなど、当社の製品は、皆さんの身の回りのあらゆるところで活躍しています。

■複雑で高精度な製品生産に対応
棒鋼を高周波加熱し、成型加工を行う熱間鍛造に対し、室温で金型を用いて圧縮成型する工程を冷間鍛造と呼び、複雑で精度の高い加工ができることが特徴です。

滋賀工場では、冷間鍛造工程を中心に高精度な製品生産を行っているほか、熱間鍛造と冷間鍛造を併設しており、複合加工を行うことで製品精度の向上とともに大幅なコストダウン、納期短縮を実現しているなど他社にはない強みがあります。

■地域との交流を大切に

当社では、地域の方を対象にした工場見学を行い、製品や環境への取り組みを紹介しています。また、地域の二員として地元自治振興会主催のイベントにも参加させていただいており、今後も交流を大切に、地域に根付いた取り組みを続けていきたいと思っています。

「ものづくり企業として技術を高め、真



▲製品の一部例（ベアリング部品）

に豊かな社会づくりに貢献する」を企業理念として、さらなる難加工技術の確立をめざすとともに、今後は海外展開に力を入れ、来年稼働するタイ工場をはじめ各国に進出してまいります。

(常務執行役員 生産統括兼
滋賀工場工場長 森井 貢氏談)

●甲賀市の将来像

「人 自然 輝きつづける あい甲賀」

- 生活の安心感をみんなで育てる
- 自然環境を大切に、暮らしの豊かさにつなぐ
- 安全で快適な生活の基盤を整え、まちの活力を高める
- 地域の特性を活かし、元気な産業を伸ばす
- たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる

まちづくりのSDGs目標

甲賀市総合計画基本構想

●今月の納税等

- 固定資産税(3期)
- 国民健康保険税(9期)
- 保育料・幼稚園使用料
- 介護保険料(9期)
- 後期高齢者医療保険料
- 水道料金・簡易水道料金

納期限は1月6日(月)です

市税等の納付には、便利な「口座振替」をご利用ください。

広報 あいこうか 2013年12月15日号
[No.204]2013.12.15発行

■編集・発行

- 甲賀市役所
〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
☎0748-65-0650 ☎0748-63-4554
- 甲南庁舎(甲賀市甲南町野田810番地)
【上下水道部】
☎0748-86-8000 ☎0748-86-8032
【教育委員会】
☎0748-86-8002 ☎0748-86-8380
- 市民窓口センター(甲賀市水口町水口6053番地)
☎0748-62-1621 ☎0748-63-4086
- 土山地域市民センター(甲賀市土山町北土山1715番地)
☎0748-66-1101 ☎0748-66-1564
- 甲賀大原地域市民センター(甲賀市甲賀町相模173番地1)
☎0748-88-4101 ☎0748-88-3104
- 甲南第一地域市民センター(甲賀市甲南町野田810番地)
☎0748-86-4161 ☎0748-86-8029
- 信楽地域市民センター(甲賀市信楽町長野1203番地)
☎0748-82-1121 ☎0748-82-3415

※上記4つの地域市民センターは、旧支所の地域市民センターで、従来の支所機能を有します。
業務時間/8時30分~17時15分(窓口延長日を除く)

「広報 あいこうか」がホームページでもご覧いただけます!

甲賀市ホームページ
<http://www.city.koka.lg.jp/>

甲賀市 facebook ページ
<http://www.facebook.com/city.koka>



この広報誌は再生紙を使用しています。

編集後記

現在、市内各地で手作りのイルミネーションが飾られています。

青く夜空に浮かび上がるツリーや光の並木など、いつもとはちょっと違った素敵な空間を楽しむことができます。

寒い季節だからこそ、あたたかに照らされた風景を見に出かけてみてはいかがでしょうか。

